

ポートランド州立大学 参加報告書

法学部法律学科 2 年（参加当時）

1. はじめに

2025 年 2 月 16 日から 3 月 10 日の約 3 週間、アメリカのオレゴン州にあるポートランド州立大学の海外研修プログラムに参加しました。そこでの活動の内容について、主に「留学先での取り組み」「学外での経験」の 2 つに分けて報告します。

2. 留学先での取り組み

授業は、午前 9 時半から 12 時が主に日常会話で使える表現を学ぶ conversation class で、午後 1 時から 3 時がポートランドのポップカルチャーについて学ぶ plus class でした。

午前の授業は、毎日教室で行われました。2 時間半と、日本での通常授業よりも長かったですが、受け身だけの授業ではなく、積極的に英語を話す・聞く・書くことを大切にしている先生で、生徒同士の交流も多かったので授業が終わるのがあっという間に感じました。ファイナルプレゼンテーションは、毎日の授業で習った表現を使った劇をするというもので、3 人ほどのグループで台本を作り、発表しました。以前は人前で英語を話すことが苦手でしたが、アクティブな授業をしていたおかげで、劇も楽しく行うことができました。

午後の授業は、約 2 日に 1 回、フィールドワークが行われました。授業の時間にカフェを巡ってコーヒーの飲み比べをする日や、有名な本屋に行って散策をする日がありました。フィールドワークでは、必ず課題プリントが出され、その内容は行く場所によって異なってはいましたが、訪れた場所にいるお客さんや店員など地元の方に話しかけてインタビューをするといった、英語を使ってコミュニケーションを図る内容が多く盛り込まれていました。また、引率のボランティアとして、先生以外にもポートランド州立大学の学生などがきてくれたので、その方達とも英語で話したり、情報を共有したりすることができました。



←コーヒースタディ



←劇

クラスメイトは18人で、全員日本人でした。北九州市立大学を含め、4つの大学から来た生徒で構成されていました。最初は、日本人だけのクラスで英語を実践することに不安を感じていました。しかし、クラスメイトはいわゆる難関大学から参加した生徒ばかりだったので、授業内容は基礎的なもので難易度は高くなかったですが、その分ペア活動や実践的な練習を高いレベルの中で毎日頑張ることができ、刺激を受けることができました。遠くの地域に住む友達がたくさんできたことも、このプログラムに参加した財産になったと感じています。

アクティビティとしては、コロンビア渓谷への観光、フッド山でのソリ、NBA観戦がありました。どれもとても良い経験になりました。特にNBA観戦では、アメリカのエンターテインメントを直に感じる事ができたと思います。



←Mt. Hood



←NBA観戦

3. 学外での経験

私は、3週間ホームステイをさせていただきました。私のホストファミリーは、76歳と65歳のクリスチャンの夫婦でした。孫もいる年齢ではありますが、2人ともフルタイムで働いており、とてもパワフルな方でした。ホストファザーはガーナ出身、ホストマザーはジャマイカ出身で、少し英語が訛っていて聞き取りづらくはありましたが、わかるまで丁寧にゆっくり話してくれたり、私の英語も理解しようと常に耳を傾けてくれたりしました。朝はパンケーキを自分で作り、昼はベーグルに具材を挟んで大学に持って行っていました。夜はホストファザーが主に作ってくれ、日本ではあまり馴染みのない調味料を使った料理が多く、スパイシーでとても美味しかったです。また、日本とは違う種類の米も食べました。食事面はとても不安でしたが、一度も残すことなく、毎日美味しい料理を食べることができました。

休日は、主に土曜日は私の行きたい場所に連れて行ってくれ、日曜日は教会について行きました。日曜礼拝は、想像していたよりも華やかでした。神父は壇上を動き回って熱く語りかけ、讃美歌はドラム、サックス、ピアノなどの生演奏と3名のボーカ

ルによって明るく歌われ、まるでコンサートのような感じでした。クリスチャンではない、ただの見学者である私にみんな優しく話しかけてくれ、握手を交わしました。温かく、楽しい雰囲気に包まれたことで宗教に対するイメージが変わりました。

放課後は、ダウンタウンを散策したり、美味しいものを食べに行ったりしました。英語でコーヒーを注文したり、交通機関を駆使して目的地を目指したりして少しでも経験を増やすことを心がけました。



←教会

4. まとめ

私は法学部で、英語に自信がない状態で思い切ってプログラムに参加しました。最初は不安で仕方なかったのですが、稚拙な英語でもコミュニケーションを取れたことで、恥ずかしがらずに英語を話せるきっかけになったと感じています。また、この3週間で、たくさんの現地の方と連絡先を交換したので、その人たちとより円滑に英語で話ができるようになることをモチベーションに、これからも英語の勉強を頑張って、連絡を取り合いたいです。

今まで保守的な生活をしていた自分にとって、この3週間はすべてが刺激的で成長できた期間だったと感じています。自分の“好き”を全面に出すところや、それをお互いに認め合う姿勢に触れ、私自身もこれからの生活においてアクティブに追求する精神を持ち続けたいと感じました。